緑のサヘル機関紙　Vol.41　　2010 年　2 月　8 日

ラ　フォレ　セ　ラ　ヴィ　―森こそ命―

La Forêt, C'est la Vie !

新年を祝う村人たち

2010 年を迎えて

新年早々の 1 月 12 日、カリブ海に浮かぶ島国ハイチで巨大地震が発生しました。15 万人におよぶ死者と甚大な物的被害に、心が痛む毎日が続いています。世界には様々な不幸が絶え間なく起こり、それらの事実を直視し続けるのは本当に苦しいことです。しかしその一方で、さまざまな支援や行動が、同じ世界のどこかから起こってくるというもうひとつの事実は、私たちに希望をもたらしてくれています。どこかで、誰かが、何かを、始めてくれることに、深い共感を持つことが出来ます。

「緑のサヘル」は今年、設立 19 年を迎えました。活動を始めた 1992 年と比べると、チャドでは人口が 2 倍近くになり、ブルキナファソでも首都ワガドゥグの発展ぶりには隔世の感があります。しかし、地方の村々に行けば、そこには 20 年前と大して変わらない生活があり、人々は未だに多くの問題を抱えています。時には「何が出来るのか」、「どうしたらいいのか」という迷いがよぎることもありますが、遠く西アフリカにある国々で起こっている事実に心を寄せ、ご支援して下さっている方々がおられることは、感謝と共に励ましとなり、私共の背中を押してくれる大きな力となっています。そして、人はつながっているのだと、一歩一歩に感じることが出来ます。

最後になりましたが、皆様のご多幸をお祈りすると共に、今年もご指導とご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

緑のサヘル　代表理事　岡本敏樹